

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Per + Trastuzumab + any Chemo
診療科名	乳腺科
診療科責任者名	福間 英佑
適応がん種	HER2陽性乳がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	BR-037
登録日・更新日	2013年9月13日登録・2020年10月27日更新
削除日	
出典	The Lancet Oncology 2013;14:461
入力者	川田 暁

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ベルツズマブ (パージェタ点滴静注)	420mg	840mg/body(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	60分	Day1
	生理食塩液	250mL	420mg/body(2回目以降)		30分まで短縮可能	
No.2	トラスツズマブ (トラスツズマブBS点滴静注用)	60,150mg	8mg/kg(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	90分	Day1
	生理食塩液	250mL	6mg/kg(2回目以降)		30分まで短縮可能	

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日)・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	

減量・中止基準	併用する化学療法の基準に準じる 【中止基準】 ・EF <50%
	不要(併用する化学療法の前投薬に準じる)
その他の注意事項	EF50%未満の場合適応不可anthracycline系の薬剤を含むレジメンとの併用不可(例:FEC、EC、AC)出典論文はドセタキセル併用であるが、他の化学療法に変更可能とする。ただし、毒性などの理由により化学療法を中止する場合を除き、パージェタ・ハーセプチン・chemoの併用を原則とする。投与順はパージェタ・ハーセプチン・chemoのいずれの順番でも可とする *1 忍容性が良好であれば、90分→(60分)→30分と短縮可能である(90分→30分の短縮も可能)初回導入時は投与前、4ヵ月後、8ヵ月後に心エコーにてEFをチェックする。再導入時は2コース毎に心エコーにてEFをチェックする。

記入者	川田 暁
確認者	福間 英佑